



広報せき



SeikiGocoro 09

SeikiGocoro

2021
09

No. 1727

TOPICS

RIZAP	6P
保育園入園案内	8-9P
INFORMATION	10-28P
子育てカレンダー	31P

高校生から子育てまで
50プロジェクト!!



高校生だってまちづくり VSプロジェクト!!

関市では、若者自身の成長やまちづくりのプレイヤーを育成することを目的に、10代~20代の若者と一緒に様々なまちづくり事業の企画運営を行っています。

＼ せきって意外ともしろっ! /

「VSプロジェクト」とは、高校生が「楽しい」ということを形にしたり、「やってみたい」と思ったことにチャレンジしたりしていく等身大のプロジェクトチームです。

メンバーは関市内在住・在学の高校生たちで構成され、高校生ならではの視点を活かした関市の魅力発信や、関市をフィールドにしたイベント等の企画運営に取り組んでいます。

随時メンバー募集中!

なんでVS
っていうの?

VSプロジェクトの「VS」の由来は
●関市の地形の「V」字型と
●関の英字の頭文字「S」
からとっています。



＼ めままでどんなことしたの? /

今年で5年目を迎える「VSプロジェクト」のこれまでの活動をちょっとだけ紹介します!

「全国高校生お中元プロジェクト」に参加!(R2)

市内企業の社長さんたちとミーティングを重ね、【関市らしさ】【インパクト】【鮮度】をキーワードに、お中元としての魅力はもちろん、作り手の思いや人柄も丸ごと伝えるための「お中元」を作り上げ、全国の高校生団体へ送りました!

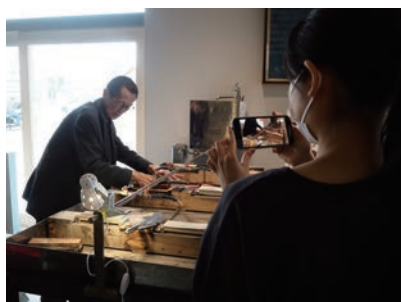
※「全国高校生お中元プロジェクト」とは、全国の高校生団体がそれぞれの地域の特産品やお土産を“お中元”として送り合い、その魅力をSNSを通して発信し、地元のお店を応援していこうというプロジェクトです。



せきてらすPR動画制作しました!(R3)

今年3月にOPENしたせきてらすを訪問!“せきてらすを体験するとともに動画を制作し、PRせよ!”というミッションにメンバー全員で挑み、動画の撮影・編集をしました!

高校生たちが制作した動画はYouTubeの関市公式チャンネルにて公開中! [こちらのQRコードからご覧ください!](#)



他にもこんな活動したよ!

メンバーTシャツ作成

おうち時間でもふいん



Instagram [[@seki_vs](#)]

Instagramで
情報発信しています!
参加申し込みもこちらから!



メンバーの声、聞いてみました! /

たした こころ
田下 想さん



私は学校の教室に掲載されていた楽しそうな雰囲気のチラシを見て友達と参加してみようと思い、VSプロジェクト3年目の夏から仲間入りをしました。実際に参加してみて、“企画から運営するのってこんなに大変なんだ!”と驚きました。活動していくうちに大変に思う反面、企画することのおもしろさや関市の自慢できるところを発見でき、この活動が将来の進路を決めるきっかけになりました。「VSプロジェクト」はメンバーで意見を出し合って活動するので自分のやりたいことや思ったことを発言しやすい場であり、私たちの「背中を押してくれる場所」だと思っています。ちょっとでも興味がある人は、VSプロジェクトに参加して私たちと一緒に活動してみませんか!?

“まちづくり”ってなんか難しそう…と思ったあなた!! 安心してください!
関市では**若者チャレンジ支援コーディネーター**があなたの「やってみたい」をサポートします!!

「若者チャレンジ支援コーディネーター」とは

すぎと みづき
杉戸 美月さん

- 関市における若者事業のブラッシュアップと拡大、若者支援に関わる各種機関からの相談対応およびネットワークの構築を目指す職員です。
- 若者の「やってみたい」を形にいくためのサポートや、市内企業や団体と包括的に若者支援を行うために2020年11月から配属されました。



コーディネーターからひとこと

地域おこし協力隊として活動していた経験を活かし、地域住民と若者をつないでみんなの「やってみたい」が実現できるよう精一杯サポートします!

VSプロジェクトの他にも!! /

まちづくりへのはじめの一步!

募集

1

「関市若者まちづくり団体・まちづくりプレーヤー登録制度」でチャレンジしよう!

関市を拠点にしたまちづくり活動をやりたい若者を市がサポートしていきます。

対象 満16歳~24歳の個人および団体

申請



制度への登録と、活動に必要な支援(物品の貸与、チラシの印刷等)を申請する

活動



支援物品をもとに活動を実施する

報告



活動が終わったら、物品の返却と活動報告書を提出して完了

たとえば…

- ・本町商店街で謎解きイベントを開催したい!
→チラシの印刷・ラミネート、筆記用具貸与
商店街の人たちの協力依頼のお手伝い
- ・円空さといもでドーナツを作って販売したい!
→オリジナルエプロン、包み紙の支給

など(R2実績)

市民協働課まで
気軽にご相談ください!

募集

2

「SDGs de 地方創生カードゲーム」に参加しよう!

最近よく聞く「SDGs」とまちづくりの関係について考えるカードゲームです。

- 講師 江坂侑さん(SDGs de 地方創生公認ファシリテーター)
- 日程 10月9日(土) 午後1時30分~4時30分(午後1時受付開始)
- 対象 市内在住・在学の高校生および大学生
- 定員 20人(申込順)
- 場所 せきてらす内「じゆうなひろま」



申込はこちらから! /



照会先 市民協働課(☎23-6751)



大切な米を守れ!



農家を悩ます“厄介者”駆除に新たな一手



本州、四国、九州の太平洋側の温暖な地域では、田んぼの稲を食い荒らしてしまう厄介な巻貝の生息が確認されています。その貝は、「ジャンボタニシ」(正式名: スクミリングガイ)と呼ばれ、各地で被害をもたらし、多くの農家を困らせています。そうした中、一人の少年が「農家の皆さんを助けてあげたい」と、ある発明品を製作し、市発明展で市長賞を受賞。この発明品を利用して、市が駆除対策に動き出しました。

ジャンボタニシとは?

[正式名]
スクミリングガイ

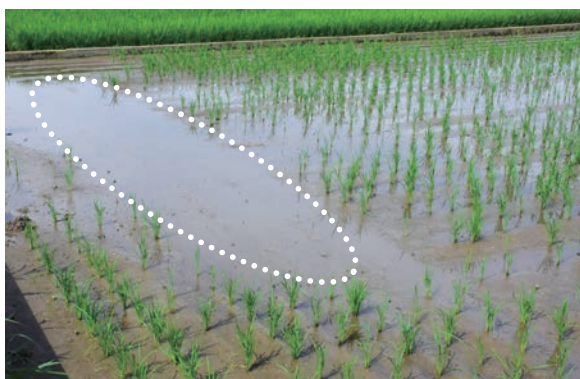
[大きさ] ※成貝の殻高
約2~7cm



南米原産の淡水に生息する貝。1981年に食用として輸入され、全国で500箇所もの養殖場ができました。ところが、野生化した貝が稲を加害し始めたため、1984年に有害動物に指定され輸入が禁止に。養殖業の廃業が相次ぎ、捨てられたり、脱走したものが増え拡がり、全国で農作物の食害問題を起こしています。

どんな被害があるの?

田植え直後の柔らかい稲(成長した稲は食べない)やレンコン、イグサ、ミズイモなどの水田作物を食い荒らします。暖冬の影響もあり、越冬する個体が増えたことも被害が拡大する要因といわれています。



稲が食べられ、歯抜けのような状態に。

市内にもいるの?

旭ヶ丘・小金田地域で生息が発見され、稲の食害が報告されています。食害された田んぼを見ると、いたるところに、その姿を確認できます。



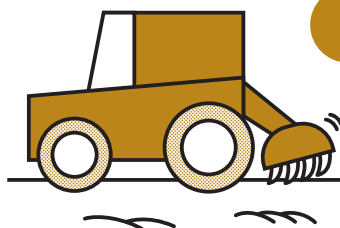
雑食性で食欲旺盛。繁殖力も強い。 毒性のある、ピンク色の卵を産む。

駆除する方法は?

農薬のほか、越冬しないように、水路の泥上げや田んぼの土を掘り返して、貝を寒気にさらしたり、破碎して駆除します。また、被害の拡大を防ぐため、田んぼの取水口・排水口にネットを設置して侵入を阻止することや、田植え後に水深を浅くして活動を抑制する方法などで対処します。



農薬散布



耕運



※ジャンボタニシには、人体に有害な寄生虫がいる場合があり、卵には神経毒があるため、素手では触らないでください。



この状況を何とかしたいと 一人の少年がオリジナルの 駆除アイテムを発明!!



栗山 知大さん
(旭ヶ丘小学校6年生)

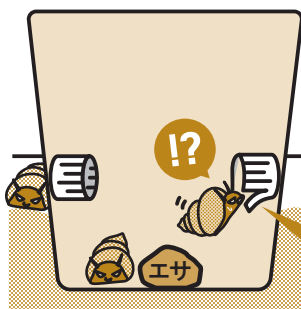


きっかけは、農家の
人から「稲を食べ
てしまう外来種の
貝がいて困っている。
でも、なるべく強い
農薬は使いたくない。」
という話を聞いたこと
です。初めて貝と卵
を見たときは、その
数や色にとっても驚
きました。何とかし
てあげたいと思いと
ともに、生き物好
きとして、農薬によ
って田んぼや川の生
態系が壊れてほしく
ないという気持ちに
なりました。そこで、
解決策として、「罠」
で捕まえられないか
と考え、製作するこ
とを決めました。



ジャンボタニシの^{わな}罠!!

罠の特徴(下図は断面)



＼工夫したところ／

侵入口に、切り込み
を入れたペットボ
トルが取り付けあ
り、脱出しようと
しても、しなっ
て自重で転げ落ち
る。

市販のプラスチック製の植木鉢とペットボトル
を利用。植木鉢にエサを置き、側面の穴からタニシ
をおびき寄せます。侵入してしまうと、工夫された
仕組みで脱出が困難に。

※現在も改良を続け、機能アップを図っています。

こだわりのエサ

農作物・環境への影響がない
エサにしたいと考え、精米で発
生する「米ぬか」を使用。匂い
が出るように発酵させ、練り固
めて団子にします。



▲罠は田んぼに埋め込んで固定。
設置してから数日で効果を発揮します。

▶初めて設置した時は、数日で30匹以
上の捕獲に成功。多い時には、半日
のうちに、罠1個で約80匹を捕獲
したことも。



「罠」を量産、農家へ配布

市では、県の補助を受け
て、栗山さんが発明した「罠」
を量産し、被害を受けている
地域の農家へ配布を行って
います。(今年度は100個を
製作)



照会先 農林課 ☎23-7705

今後も、研究を
続けていきたい
と思います!!

この罠が
農家の皆さんの
役に立ってくれる
と嬉しいです!!